

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCB\_2010bpi&bei(v.2.11)

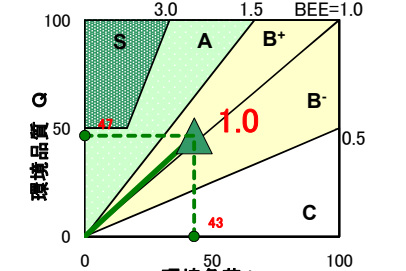
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	地域密着型特別養護老人ホーム(信)	階数	地下1階、地上4階
建設地	堺市南区茶山台3丁22-9	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	39人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2015年6月29日
敷地面積	976 m <sup>2</sup>	作成者	内藤慎治
建築面積	753 m <sup>2</sup>	確認日	2015年7月6日
延床面積	2,679 m <sup>2</sup>	確認者	



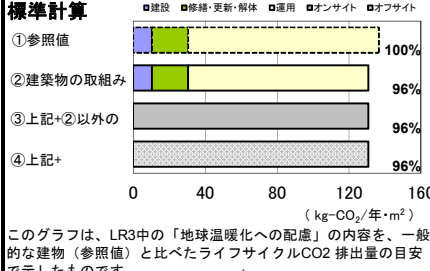
### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



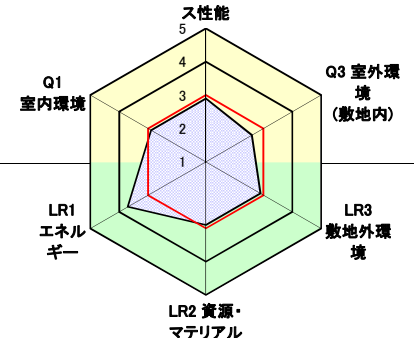
### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 96%  
③上記+②以外の 96%  
④上記+ 96%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

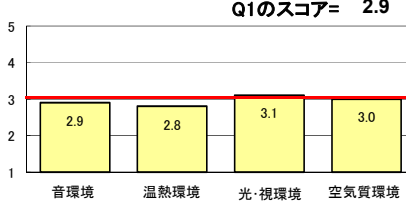


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

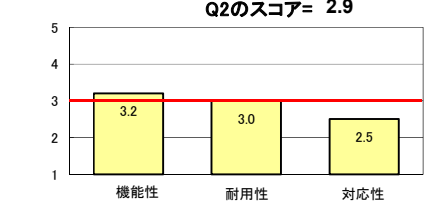
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9



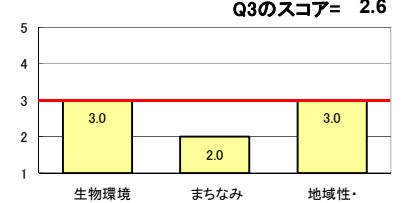
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9



#### Q3 室外環境(敷地内)

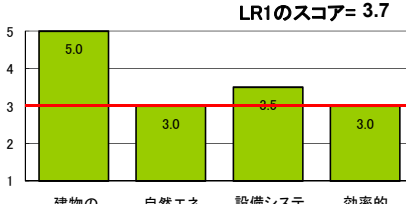
Q3のスコア = 2.6



**LR のスコア = 3.2**

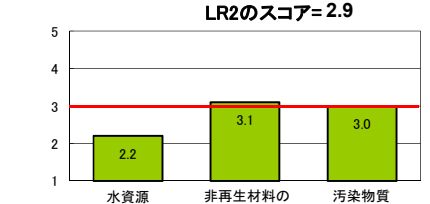
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7



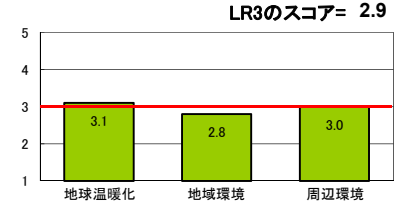
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
敷地や屋上等の緑化に努め、自然の中の老人ホームとした。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 各個室において、昼光率と自然換気に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 室の床面積を10㎡以上にし、機能性に配慮した。また、主要内装材は耐用年数が20年以上とし、給水管・排水管等もBとし耐用性に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地や屋上等の緑化に努め、敷地内温熱環境の向上に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI値を0.651に抑え、エネルギー使用の抑制に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 解体時に躯体と仕上材の分別が容易になるように壁や天井仕上を「躯体+軽鉄+仕上材」とし、部材の再利用への取り組みを行った。	<b>LR3 敷地外環境</b> 外構緑化や屋上緑化をおこない、温熱環境悪化の改善に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	地域密着型特別養護老人ホーム(仮)泉北園百寿荘新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市南区茶山台3丁22-9	1	B+
	主用途/延床面積	病院 / 2,678.95 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.1	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		5.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.5	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		2.2	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		2.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	
建物の屋上の緑化に配慮した。	